

令和2年度 英語教育充実プラン 高知市立義務教育学校土佐山学舎		研究テーマ (英語教育推進方針)	学習指導要領を具現化した小学校外国語教育の在り方について ～言語活動をとした主体的・対話的で深い学びの実現～			
年度当初の状況（4～5月調査を記載）		到達目標	年度末の到達目標達成状況（2月調査を記載）			
調査項目（意識調査の項目）			肯定的回答%	達成状況	考察	
児童	①英語で自分のことや意見を発表することが楽しい。	1 児童意識調査の肯定的回答の割合の向上 ・①②③をいずれも3%以上の向上を目指す。				
	②聞いたり話したりしたことを、読んだり書いたりするのが楽しい。					
	③英語を使って日本の文化を紹介してみたいと思う。					
教員	④英語に対する苦手意識を感じていない。		2 教員意識調査の肯定的回答の割合の向上 ・④⑤を20%、⑥を10%以上の向上を目指す。			
	⑤単元計画の立て方について理解できている。					
	⑥言語活動を通して資質・能力を育成する授業づくりについて理解できている。					
到達目標達成のための取組		取組計画		指標達成状況		
項目	成果指標	5～2月		達成状況	年度末評価	
英語教育の推進体制の構築	◆メンター制を活用した校内研修体制の確立 ◆教員意識調査 ④肯定群 50%以上	<ul style="list-style-type: none"> 学校の実態を把握し、校内研修を計画的に実施する。 校内の推進体制を見直し、研究組織を活性化させる。その一つとしてメンター制を活用し、グループで若年教員を支える。各グループで達成したいテーマを選び、月1回の拡大校内研修会を活用して研究を進める。 校内研修に高知市教育委員会指導主事を招聘し、研修の活性化を図る。 公開授業等を通して、研修の充実を図る。(10月・2月) 新しい単元に入る時や公開授業の単元作りの際に、各学年で外国語担当と共に、単元づくりについて話し合う時間を設定する。 				
学習指導要領に基づいた指導方法及び学習評価の工夫改善	◆教員意識調査 ⑤肯定群 55%以上 ⑥肯定群 66%以上 ◆「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標の設定、活用(設定・把握)	<ul style="list-style-type: none"> 外国語教育や新学習指導要領にかかわる研修等に参加することで、学習指導要領の趣旨理解についての充実を図る。 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標を設定し、「何ができるようになるか」を児童と共有するとともに、目標の達成状況を把握する。 講師招聘のもと、英語教育の指導方法及び学習評価についての研修会を実施する。 校内で推進教員を中心とした模擬授業や研修会を実施し、学校全体として授業改善を進める。 				
豊かな言語活動を育む場面の設定	◆外国語活動・外国語科の年間指導計画の作成及び年間カリキュラム作成 ◆児童意識調査 ②肯定群 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> English Corner (掲示板) を活用して、外国の文化に触れる機会を増やす。 「ぐんぐんタイム」(前期課程の外国語活動の時間)の内容を見直し、言語活動の質を高める。 「Kochi 使える広がる Fun!Fun!えいご」を授業で活用するだけでなく、学校全体で位置付ける「ぐんぐんタイム」や家庭学習等での活用を工夫することで、児童の英語力向上をめざす。 オーストラリアの姉妹校との遠隔授業等を通して、外国の文化に触れるとともに、コミュニケーションのツールとして英語を使う体験を増やすようにする。 学力向上部より、外国語だよりを発行し、地域や家庭に児童生徒の学習の様子を知らせる。 				